

麻里布小学校 働き方改革に向けて

2025.12.12

1 働き方改革について

学校における働き方改革の目的は、教師が自ら授業を磨くとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、ひいては子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことです。現在、全国の学校で教職員の働き方の見直しが求められています。本校においても、教職員のライフワークバランスを整え、より一層子どもに向き合う対応が充実することをめざしていきたいと思います。

2 教職員の時間外勤務

勤務時間外に、学校で勤務をしている時間が45時間を超える教職員の割合（令和6年度）

	山口県	麻里布小学校
45時間を超える 教職員の割合	30.8%	50.1%

1ヶ月の平均時間外勤務（令和2年度～令和6年度）

	山口県	麻里布小学校
令和4年度	38.4時間	43.8時間
令和5年度	37.0時間	43.9時間
令和6年度	35.0時間	44.0時間

3 山口県働き方改革加速プランと本校の取組

柱1 業務の見直し・適正化
① 適正な勤務時間管理と継続的な状況把握
③ 意識改革や業務の効率化を図る研修の充実
柱2 校務の効率化
④ 統合型校務支援システム [*] の効率的な運用
※ 統合型校務支援システム：基本情報、成績処理、出欠管理等を統合して管理・処理するシステム
⑤ 校務におけるICTの活用促進
柱3 勤務体制等の改善
⑥ メリハリのある働き方のルール化
⑧ 部活動指導員の配置と部活動の適正化
⑦ 教員業務支援員の配置
⑨ ICT支援員の配置
柱4 学校・家庭・地域の連携・協働
⑩ 学校・教員が担う業務の在り方の整理と保護者・地域への理解促進
⑪ 部活動改革の推進
⑫ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かした、地域のネットワークの強化

本校の取組

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
<ul style="list-style-type: none">・欠席連絡のデジタル化・学校評価アンケートのデジタル化・学校行事や行事内容の精選・1人1台端末の有効的な活用・会議資料のペーパーレス	<ul style="list-style-type: none">・電話対応時間の設定・学校閉庁日の設定・学期末成績処理日の設定	<ul style="list-style-type: none">・学校安全ボランティア・PTAボランティア・ICT支援員の活用・業務アシスタントの活用

4 今後の取組

【目標】 時間外在校等時間の上限方針の遵守 『月45時間を超える教員の割合を0に近づける』

（山口県「学校における働き方改革加速化プラン」より）

今後の取組

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
<ul style="list-style-type: none">・行事の精選と内容の見直し・家庭学習での一人一台端末の活用・配付文書のデジタル化	<ul style="list-style-type: none">・時程の弾力的な見直し・会議等の削減・管理職による勤務時間管理	<ul style="list-style-type: none">・学校運営協議会等の地域の教育力の活用・小中連携による、効果的な学習の推進・学力保障に向けたボランティア支援

今後も、児童の健全な育成と、教職員が健康で心豊かな生活を送ることが確保できるように積極的な取組を行っていきたいと思います。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

『参考資料 山口県働き方改革加速化プラン』

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/178202.pdf>